

技術士を目指そう、修習ガイダンス 2017
技術部門別展示説明会と合格祝賀会 報告

日程 平成 29 年 2 月 4 日 (土)
技術部門別展示説明会 : 10:00~12:00 (準備と片付け含む)
合格祝賀会 : 16:30~19:00
場所 日本教育会館 9 階 喜山倶楽部 平安の間

参加者 (展示説明会) 大橋 S 幹事、勝田副部長 中田
(合格祝賀会) 中田

報告事項

展示説明会にて説明を受けたのは 6 名

一次試験合格部門別	原子力・放射線	1 名 (愛知県より参加)
	機械	3 名 (茨城県・都内?・つくばより参加)
	情報	2 名 (宇都宮、長野より参加)

掲示内容、配布資料

掲示 A3 10 枚
部会報 最近 3 号分×5 部
ポスターを基にした冊子×3 部
原子力学会主催講習の案内 10 部

説明・質疑内容

説明を聞きにきた参加者に「個別」で対応した。
主なやり取りは次のとおり。



写真:ポスター展示の様子

- Q 二次試験の願書提出・作成時について何かアドバイスがあれば教えてほしい。
- A 願書(経歴、経験論文)作成では悩ましいところが多々出るであろうこと、またそれが口頭試験に関わってくるため、先輩技術士がいない場合は講習会などに足を運んでもらうのが良いこと。
- Q 一次試験が「機械部門」。原子力・放射線部門で二次試験を受けることはできるのか
- A 一次試験が原子力・放射線部門でなくても、二次試験は原子力・放射線部門で受験可能。
「原子力」の分野は、設計、材料、生物など幅広くあるので、自分にあった選択科目を見つけることが重要。
機械、電気・電子を学んで原子力・放射線部門の技術士合格としている人もいます。

Q 機械が専門のため、原子力についてよく知らない。どうやって勉強したら？

A 「原子力がひらく世紀」がお勧め。内容が「濃い」「わかりやすい」「写真・図」が多い。→講習会では、特別格で販売します。

- ・とにかく、あきらめないうで「こつこつ」勉強すること。
- ・原子力学会のHPの解説も参考になります。
- ・部会報には「技術士に求められている資質」があちらこちらに含まれています。

Q 今年度、一次試験に受かったばかり。二次試験までまだ「7年」あります。

A 業務経験は、自分自身の今までの経験した年数をさし、一次試験を受ける前の業務も「対象」。

- ・一次試験で学んだ内容を忘れる前に、二次試験を受けたほうがよい。
- ・2/18の学会の講習に誘う
- ・試験制度が変わることを伝え、自分の「得意」がどちらか見極めること。

Q 二次試験受験資格「業務内容」についての考え方

A 実験、設計、調査だけが「技術的業務」ではないこと。
募集要項をもう一度読んでみて検討すること。

Q 身近に技術士がいないので、論文対策などどうしたらよいか。

A 他部門の論文書き方についての「テクニク」の本で学び、その後身近な人に自分の書いたものを見てもらうべき。

- ・最近、筆記用具で字を書くことが減ってきていると思うので、「自分で、字を書く」筋力、体力、知力を鍛えること。

※ 他、ポスターにつられて足を止めた人1名